

事例：No. 9

労働災害の防止，生産性の向上，自然環境への配慮で循環型林業を目指す

1. 林業事業体等名 かぶしがいしやまつだりんぎょう
株式会社松田林業（宮崎県えびの市）
2. 林業事業体の概要
- ①年間素材生産量 49,539 m³（うち間伐の占める割合17%）
- ②生産する主な樹種 スギ・ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 12名（1セット4名×3セット）

3. 取組の特長

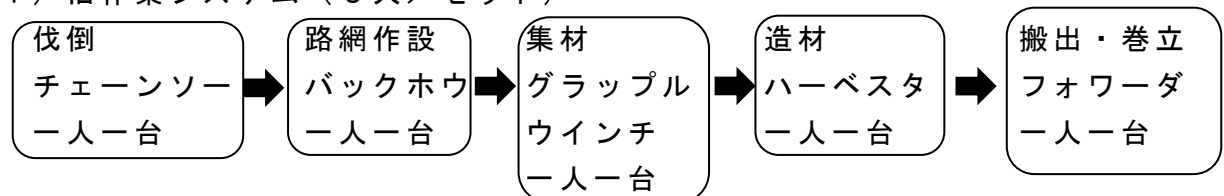
- ・路網作設は、フェラーバンチャで行い極力チェーンソー伐倒を行わない事で伐倒作業時の災害発生リスク軽減及び生産性の向上につなげている。
- ・集材は、スイングヤーダを活用して間伐・主伐両方で効率的に実施している。
- ・生産した木材は自社で運搬することにより土場の滞留を防ぎ生産性の向上を図っている。
- ・再造林に当たっては、グラップルを使用して短時間で効率的に地拵えを行っているほか、河川への枝葉等の流出防止など環境にも配慮している。
- ・コンテナ苗を用いた伐採と造林の一貫作業システムを導入し、フォワーダによる苗木の運搬など労働強度の軽減を図りつつ、循環型林業の確立を目指している。

4. 具体的な内容

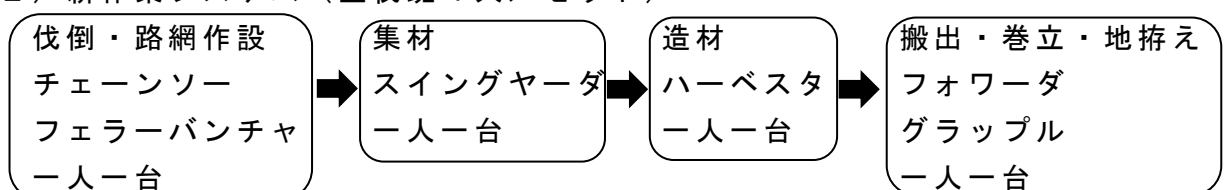
- ①施業方法：高性能林業機械を用いた地拵えまでの一貫作業
- ②使用機械：（主伐） フェラーバンチャ(0.7 m³)、スイングヤーダ(0.45 m³)
グラップル(0.45 m³)、フォワーダ(10t)
ハーベスタ(0.7 m³)

③作業システム：

1) 旧作業システム（5人／セット）



2) 新作業システム（主伐班4人／セット）



④ 森林作業道の作設方法

なるべく等高線に沿って作設している。

⑤ 労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	旧作業システム		新作業システム	
	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	7.2	6,940	10.1	4,950
主伐	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	11.2	4,460	14.6	3,420

新システムの導入により労働生産性が利用間伐で約 40%、主伐で約 30% 向上している。

5. 今後の取組等

循環型林業の確立に向け、地域の未植栽地への再造林を推進することになっている。



【フェラーバンチャによる路網作設】



【フォワーダによる積込み】



【トラックによる運搬】



【グラップルによる地拵え】

【問い合わせ先】

所属：宮崎県西諸県農林振興局林務課
 役職・氏名：副主幹 宮坂 倫子
 連絡先：0984-23-4725